



神根東小だより

川口市立神根東小学校
令和 4年 7月 1日
児童数 201名

川口市大字石神 1440 Tel048-295-1817 <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/kaminehigashi-e/>
目指す学校像「あいさつと笑顔があふれ、保護者から信頼され、地域と共に歩む学校」



叱ること・ほめること

校長 佐々木 小百合

人から叱られた経験は誰にでもあるかと思いますが、やはり叱られるのは誰でも嫌なことでしょう。最近、大人でも上司から叱られたことで仕事を退職してしまう人がいるという話を聞いたことがあります。せっかく苦労して就職したのに誠に残念です。一方、叱る側もパワハラと言われないうちにかなり気を遣いながら注意をしなければならない現状です。社会人になってはじめて叱られたなどという人もいますから、それは驚いてしまいます。

子ども達が最初に叱られるのは恐らくご家庭で親からかと思えます。親子の場合、身近であるが故に感情的に怒ってしまいがちです。エスカレートして手や足が出て虐待といった事態に陥ることもあり、最近こうしたニュースも目立って増えています。叱るとはなかなか難しいものです。

叱るという教育的な指導は、毅然とした態度でしていくことも必要ですが、教育の専門職である教員でさえ大変難しく、経験や知識、技術を伴います。理性を失い感情的になれば叱っているつもりが知らず知らずのうちに怒っているだけ、さらには体罰になってしまうかもしれません。そうならないように常に専門的なスキルを身に付けられるよう研修をしたり訓練をしたりします。どんな時に叱るべきか書かれている冊子がありましたので、参考に紹介します。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ①きまりやルールを守れなかったとき | ②気持ちのよい挨拶や返事ができなかったとき |
| ③話を聞くことができなかったとき | ④言葉の遣い方に気を付けられなかったとき |
| ⑤思いやりの気持ちを忘れて人を嫌な気持ちにさせたとき | |
| ⑥助け合いができなかったとき | ⑦感謝の気持ちを忘れているとき |
| ⑧人任せになっているとき | ⑨投げやりな態度が見られたとき |
| ⑩責任逃れをしようとしたとき | ⑪うそをついたとき |

*「規範意識を育むほめ方・叱り方」京都市教育委員会作成冊子より

<叱り方のポイント>

- 人間性を否定しないように具体的に叱る
- 一貫性をもって叱る
- 成長を促すために叱る

感情的になっていては決してこのような叱り方はできないことが分かります。そして、叱った後が実は大切です。反省し、その後どう行動したのかを見届け、良くなったところを間髪入れずにほめる。叱りっぱなしでは心は育ちません。叱ることとほめることは一対になっていると思います。叱ることとはどこが良くなかったのか、何が間違っていたのかをしっかりと自覚し、深い内省を促すことに他なりません。きちんと叱りきちんとほめることで、どのように行動したら良いか、あるいはしてはいけないのかという規範意識を育てていくことに繋がっていくと思います。

学校は「集団で生活する場」でもあります。その人間関係の中で学ぶ大切なことも指導してまいります。子ども達は様々な人との関わりで大きくなっていきます。学校と家庭と地域の方々から叱ったりほめたりすることで良き人に育てていきたいと思えます。

引き続き、神根東小の全ての子ども達の成長を温かく、そしてときには厳しく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。